

JA 0008270

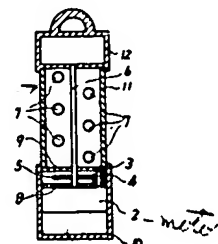
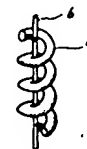
JAN 1978

**(54) PERSONAL ORNAMENTS**

- (11) Kokai No. 53-8270 (43) 1.25.1978 (19) JP  
 (21) Appl. No. 51-81761 (22) 7.9.1976  
 (71) DAINI SEIKOSHA K.K. (72) RIYOUZOU HASEGAWA  
 (52) JPC: 131B0  
 (51) Int. Cl<sup>2</sup>. A44C25/00

**PURPOSE:** A personal ornament which is provided with a new a esthetic effect by making a special-shaped decorative body movable so as to create an effect as is it were visually making an entirely different movement.

**CONSTITUTION:** This mechanism is composed of a battery 1, a motor 2, a motor shaft 3, pinions 4 and 5, a rotary shaft 6, a spiral decorative body 7, a base plate 8, a receptacle 9, a bottom side casing 10, a glass pipe 11 and a top side casing 12, etc. As the battery 1 supplies power, the motor 2 is started to rotate the motor shaft 3. The motor shaft's rotation is reduced by the pinions 4 and 5 and then conveyed to the rotary shaft 6 to slowly rotate the spiral decorative body 7 which is fixed onto the rotary shaft 6. As movement of the decorative body is observed, it is seen to be not a simple rotation, but appears as if it were make up-and-down movements, and therefore, its effect as an accessory is largely increased.

**BEST AVAILABLE COPY**

⑨日本国特許庁  
公開特許公報

⑩特許出願公開  
昭53—8270

⑪Int. Cl.<sup>2</sup>  
A 44 C 25/00

識別記号

⑫日本分類  
131 B 0

庁内整理番号  
6960—21

⑬公開 昭和53年(1978)1月25日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭装身具

⑮特 願 昭51—81761

⑯出 願 昭51(1976)7月9日

⑰発 明 者 長谷川量造  
東京都江東区亀戸6丁目31番1

号 株式会社第二精工舎内  
⑱出 願 人 株式会社第二精工舎  
東京都江東区亀戸6丁目31番1  
号

⑲代 理 人 弁理士 最上務

明 細 書

発明の名称 装身具

特許請求の範囲

電池とモータを内蔵し、上記モータによつて揺動し、らせん、偏心した輪等を回転せしめ、それによつて回転以外の別の運動をしているような視覚効果を出すことを特徴とした装身具。

発明の詳細な説明

本発明は、装飾部分を可動とした装身具に関するものである。

従来の装飾的部分を可動とした装身具は、動きが比較的単純とならうらみがあつた。本発明は、特殊な形状の装飾体を回転させることにより、視覚的に全然別の動きをしているかのような効果を起こせしめ、従来になかつた新しい装飾効果をもつた装身具を提供することを目的とする。

本発明の実施例について、図面を参照して説明すると、第1図は、本発明の第1の実施例の断面

図で、第2図は第1図の装飾部分の斜視図である。1は電池、2はモータ、3はモータの軸、4、5は歯車、6は回転軸、7はらせん状の装飾体、8は地板、9は受、10は下側ケース、11はガラスパイプ、12は上側ケースである。

1の電池から電力が供給されると、2のモータが作動し、3のモータ軸が回転する。この回転は4、5の歯車で減速され、6の回転軸に伝えられ、回転軸に固定された7のらせん状の装飾体がゆるやかに回転する。

したがつて、この装飾体の動きを眺めていると、単なる回転とは見えず、装飾体があたかも上あるいは下に移動するかのように見え、アクセサリとしての効用を著しく増すことができる。

第3図は本発明による第2の実施例の断面図で、第4図は第3図の装飾部分のA-A断面を示す。第1の実施例のらせん状装飾体の代りに揺動き状装飾体13がモータの軸3にとりつけられている。装飾体13はモータの回転により、揺動が伝わるまたは揺むような感じを与える。

特許2033-8270(2)

第5図は本発明による第3の実施例の断面図で、第6図は第5図の装飾部分の斜視図である。モータの軸3にとりつけた円板14に輪15が偏心して斜めにとりつけられている。円板の回転により輪15は複雑な運動をするように見える。

上記のように本発明による装身具は可動装飾部分に回転する輪巻き、らせん、偏心した輪等を用いるので、装飾部の運動自体は回転運動でありながら、視覚的には回転以外の複雑な運動を呈するので、従来いなし新しい視覚的効果を持つた装身具を実現することができるという効果を有する。

本発明は、ペンダント、ブローチ、指輪、イヤリング、装飾り、ネクタイピン、カフスボタン等の装身具に应用することができる。これによつて、今までになかつた全く新しい魅力をもつたアクセサリーが得られ、その実用的効用は極めて大きい。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明の第1の実施例の断面図、

第2図は、第1図の装飾部の斜視図、

第3図は、第2の実施例の断面図、

第4図は、第3図のAA断面図、

第5図は、第3の実施例の断面図、

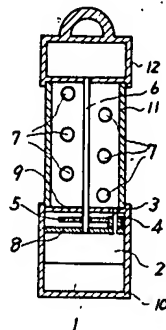
第6図は、第5図の装飾部分の斜視図である。

- 1 ... 電池      2 ... モータ  
7 ... らせん    13 ... 輪巻き  
15 ... 偏心した輪

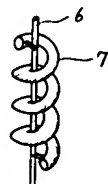
以上

代理人 最上 誠

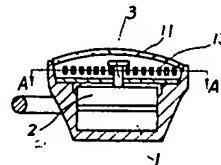
第1図



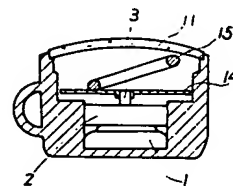
第2図



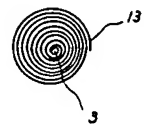
第3図



第5図



第4図



第6図

